

行政環境関連施策(第二節)												
頁	取組	担当部課	現況と課題等	H16	H17	H18	H19~H21	H22~H25	H17結果	進捗状況	達成見通し	
ア	イ	ウ	工	才	力	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	
33	昆虫や、小魚などのすめる池、小山なども配することを検討します。	公園緑地課	池：大野極楽寺公園、浅井山公園、萬葉公園、浅野公園、猿海道調整池緑地など 小山：大野極楽寺公園、光明寺公園、梅ヶ枝公園、鉄道高架記念緑道、萩原南緑地、奥町公園など 伝法寺中央公園、印田調整池でビオトープ整備を計画している。	ワークショップで公園整備計画を策定	萬葉公園の池、鉄道高架記念緑道の小山の整備	継続実施			萬葉公園の池、鉄道高架記念緑道の小山の整備	B 計画通り	B 予定通り	
33	市民（入場者）参画型で、小学生などの体験学習の場となるよう配慮します。	公園緑地課	大野極楽寺公園野鳥園で一宮平成ホタルの会（子供班含む）が水辺環境づくりを進める等、市民参加型の体験学習の場となっている。	継続実施	継続実施	継続実施			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り	
33	既存公園についても、同様に環境に関するテーマを持たせることを併せて考えていきます。	公園緑地課	大野極楽寺公園の河畔林、浅井山公園の温故井池、萬葉公園の黒松林等の環境資源を保全している。	継続実施	継続実施	継続実施			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り	
33	連区内の小学生や高齢者をはじめとして、参加希望者を募り、ワークショップ方式を導入することで、その地域に必要とされる共同参加型の市民公園づくりをめざします。	公園緑地課	ワークショップで公園整備計画を策定した。 平成13年度：西大門公園、寺跡公園 平成14年度：大塚史跡公園 平成15年度：伝法寺中央公園、東畠公園 平成16年度：念佛公園	継続実施	整備計画なし	継続実施			未実施	B 計画通り	B 予定通り	
33	連区内の小学生や高齢者をはじめとして、参加希望者を募り、ワークショップ方式を導入することで、その地域に必要とされる共同参加型の市民公園づくりをめざします。	施設管理課	エコハウス138第2期事業 平成15年度：市民参加型のワークショップ方式によりビオトープ整備の基本構想を策定した。 平成16年度：市民参加型のワークショップ方式によりビオトープ整備の基本設計を策定した。 平成17年度：実施設計を行い、引き続き、建設工事に着手し、ビオトープが完成した。	基本構想を具体的なプランにするため基本設計を作成する。	実施設計に引き続き建設工事に着手する。				実施設計に基づき建設工事に着手しビオトープが完成した。	B 計画通り	B 予定通り	
35	市民が水と親しむことのできる場所や機会の提供の拡充に努めます。一宮・稻沢地区農村振興基本計画に基づき、水辺空間を活用した緑道や親水施設などの整備	治水課	国営農地防災事業・県営地域用水環境整備事業など親水護岸・親水施設整備について国・県と調整中	継続実施	国営農地防災事業（大江排水路改修）一宮市内着手	国営農地防災事業（大江排水路改修）継続施工	継続実施	県営地域用水環境整備事業「大江川地区」一宮市内着手	国営農地防災事業（大江排水路改修）一宮市内着手	B 計画通り	B 予定通り	
35	市民が水と親しむことのできる場所や機会の提供の拡充に努めます。	地域ふれあい課	該当事業なし									
35	生活する上で欠かせない水資源の確保と、潤いのある美しい水辺環境の創造に関する「水辺環境整備基本構想」を策定する必要があるため、その策定に努めます。また、一宮・稻沢地区農村振興基本計画に基づき、水辺空間（水路上部）を活用した緑道や親水施設などの整備をします。	公園緑地課	平成15年度末で5路線3,238mの緑道を整備済。 総合計画期間（13~22年度）で5路線2,870mを整備する。	神山緑道 77m	当初計画なし	毛受緑道 240m 尾西緑道 110m	H19 毛受緑道 150m 奥町緑道 180m 鉄道高架記念緑道360m 尾西緑道 140m	継続実施 H22事業完了予定	毛受緑道設計委託実施 鉄道高架記念緑道360m	B 計画通り	B 予定通り	
35	生活する上で欠かせない水資源の確保と、潤いのある美しい水辺環境の創造に関する「水辺環境整備基本構想」を策定する必要があるため、その策定に努めます。	治水課	該当事業なし									
35	国・県が管理している河川については、「多自然型川づくり」による河川改修整備の実現に向け、関係機関に強く要望していきます。	治水課	該当事業なし									
35	緑地などを増やすことや雨水浸透樹の普及、透水性舗装路線の拡大により、地下水のかん養機能の向上をめざします。	公園緑地課	浸水被害の軽減を図るため、公園に雨水貯留施設を整備している。	大平島公園 290m³貯留	三ツ井公園 290m³貯留 薬師公園 120m³貯留				目標通り実施 計画完了	B 計画通り	B 予定通り	

行政環境関連施策(第二節)												
頁	取組	担当部課	現況と課題等	H16	H17	H18	H19~H21	H22~H25	H17結果	進捗状況	達成見通し	
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	
35	緑地などを増やすことや雨水浸透樹の普及、透水性舗装路線の拡大により、地下水のかん養機能の向上をめざします。	治水課	浸水被害の軽減を図るため、雨水貯留施設・浸透施設整備費の補助を行っています。	浄化槽転用貯留槽：15件 雨水タンク：25件 浸透樹：10基 透水性舗装：2,000m <sup>2</sup>	浄化槽転用貯留槽：25件 雨水タンク：25件 浸透樹：10基 透水性舗装：600m <sup>2</sup>	浄化槽転用貯留槽：50件 雨水タンク：25件 浸透樹：10基 透水性舗装：600m <sup>2</sup>	継続実施	継続実施	浄化槽転用貯留槽90件 雨水タンク：33件 浸透樹：3基 透水性舗装：3件(747m <sup>2</sup> )	A 計画以上	B 予定通り	
35	緑地などを増やすことや雨水浸透樹の普及、透水性舗装路線の拡大により、地下水のかん養機能の向上をめざします。	道路課	緑地の増加や透水性舗装を推進している。	ひまわり公園調整池緑地 透水性舗装 富田一宮線 2,300m <sup>2</sup>	ひまわり公園調整池緑地 透水性舗装 富田一宮線 1,400m <sup>2</sup> 透水性舗装 濃尾大橋線 900m <sup>2</sup>	透水性舗装 濃尾大橋線 700m <sup>2</sup>	透水性舗装 岩倉街道線 2,000m <sup>2</sup>	ひまわり公園調整池緑地 透水性舗装 濃尾大橋線 961m <sup>2</sup> ひまわり公園緑地 258m <sup>2</sup>	B 計画通り	B 予定通り		
35	水源地の水質監視に努め、地下水位の監視を継続していきます。	環境保全課	市内の県地盤沈下観測井及び他の井戸等で地下水位を観測している。	県地盤沈下観測井 月2回1地点 その他	県地盤沈下観測井 月2回3地点 その他	県地盤沈下観測井 月2回3地点 その他	継続実施	継続実施	県地盤沈下観測井 月2回3地点 その他 月1回24地点	B 計画通り	B 予定通り	
35	水源地の水質監視に努め、地下水位の監視を継続していきます。	上水道整備課	月1回伏流水検査にあわせて、伏流水に影響を及ぼす可能性のある表流水の水質検査を行っている。 基準項目の他にも大野2号井について年1回水質管理目標設定項目（農薬類を含む）の検査を実施	継続実施	継続実施	継続実施			伏流水7ヶ所、表流水3ヶ所の検査を毎月実施	B 計画通り	B 予定通り	
35	木曽川の上下流域の交流を通じて、水資源の保全環境を見てもらい、緑の保全に関心を持っていただきま	公園緑地課	リバーサイドフェスティバル運営協議会で毎年8月に木曽川上下流域交流会を実施している。	親子木曽川源流探検隊 1回 親子30組	継続実施 1回 35組	継続実施 1回 40組			8月6日実施 親子49組 151名	A 計画以上	B 予定通り	
37	ひもを付けての犬の散歩をするなど、ペットを飼うときのマナーアップを呼びかけます。	清掃対策課	該当事業なし									
37	飼い主を明確にするため、犬の首に連絡先の記入したプレートの着用を推奨しま	清掃対策課	該当事業なし									
37	狂犬病の予防接種を必ず受けもらえるように呼びかけます。	健康づくり課	平成17年度、集合注射通知書の発行 23,000件、同督促状の発行(11月) 5,583件、平成17年度注射済票交付件数 19,142件。 健康ひろばに集合注射日程や啓発の記事を、広報に啓発記事を掲載している。	広報啓発 2回 健康ひろば 1回	広報啓発 1回 健康ひろば 2回	継続実施			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り	
37	飼えなくなったペットなどの処理方法、持ち込み先の確保を図ります。	清掃対策課	該当事業なし									
37	町内会などの連携による通報体制の構築、看板などによる啓発活動を行っています。(ただし、民有地は除きます。)また、平成14年4月より「飼い犬等のふん害の防止に関する条例」及び改正「ポイ捨て防止条例」を施行し、公共の場所での犬などのふんの放置に対し罰則規定を設けるなどの規制強化を図っています。	清掃対策課	啓発看板の配布とともに、紙面等での啓発を実施。また、通報のあつた現場の調査等も行っている。	紙面啓発 17回 事業啓発 19回	紙面等による啓発活動を随時実施。	継続実施			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り	
39	公園では、多様な生物が生育・生息できる環境づくりを進めます。	公園緑地課	池：大野極楽寺公園、浅井山公園、萬葉公園、浅野公園、猿海道調整池緑地など 小山：大野極楽寺公園、光明寺公園、梅ヶ枝公園、鉄道高架記念緑道、萩原南緑地、奥町公園など 伝法寺中央公園、印田調整池でビオトープ整備を計画している。 大野極楽寺公園野鳥園では一宮平成ホタルの会と協働し環境を考える機会としている。	継続実施	継続実施	継続実施			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り	
39	既存の池や樹林地の保全・拡充を図ります。	公園緑地課	浅井山公園温故井池の水生植物による水質管理を実施している。 公園内の植物管理として樹木剪定、消毒等を実施している。	継続実施	継続実施	継続実施			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り	

行政環境関連施策(第二節)												
頁	取組	担当部課	現況と課題等	H16	H17	H18	H19~H21	H22~H25	H17結果	進捗状況	達成見通し	
ア	イ	ウ	工	オ	力	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	
39	学校ビオトープのネットワークを形成します。児童、生徒、保護者、地域住民の協力を得て学校ビオトープ（トンボ池など）を造ります。様々な場所で、この地域の植生を活かした森づくりを推進します。	学校教育課	現在、小学校10校にトンボ池が設置され、その周辺は潤いある環境に整備されつつある。 小学校42校の校地利用が学校によって異なるので、可能な学校（1/3程度）での設置をめざしたい。	毎年2校程度のトンボ池の増設をめざす。	毎年2校程度のトンボ池の増設をめざす。	毎年2校程度のトンボ池の増設をめざす。	トンボ池その他既設の池やその周辺の環境の整備	トンボ池その他既設の池やその周辺の環境の整備	1校増設 2校で池の周辺の整備	B 計画通り	B 予定通り	
39	学校ビオトープのネットワークを形成します。児童、生徒、保護者、地域住民の協力を得て学校ビオトープ（トンボ池など）を造ります。様々な場所で、この地域の植生を活かした森づくりを推進します。	施設管理課	「赤とんぼフォーラムin一宮」で啓発している。	赤とんぼフォーラムin一宮を開催	赤とんぼフォーラムin一宮を開催	赤とんぼフォーラムin一宮を開催			10月30日 赤とんぼフォーラムin一宮を開催	B 計画通り	B 予定通り	
39	公園の植物や、公園にやってくる生物の説明看板を設置します。	公園緑地課	一部の公園で樹名板を設置している。また、大野極楽寺公園には野鳥の説明版が設置してある。	継続実施	継続実施	継続実施			東畠公園	B 計画通り	B 予定通り	
39	地域の環境について、分かりやすく解説したパンフレット、ビデオの作成、専門家による講演会、シンポジウムの開催など積極的に取り組みます。	環境保全課	公害の現況、環境保全に関する現況・意識調査、ホームページの作成平成17年度より樹木の大気浄化能力チェック調査を市内3小学校で開催している。	環境問題講演会 1回 100人	樹木の大気浄化能力チェック調査を市内3小学校にて開催	継続実施	継続実施	継続実施	樹木の大気浄化能力チェック調査を市内3小学校にて開催 小学生60人参加	B 計画通り	B 予定通り	
39	みどりづくりの研修・グリーンガイドの紹介パンフレットの配布や緑化・工作教室を開催します。	公園緑地課	緑化教室を開設している。	緑化教室 15回 400人	緑化教室 18回 440人	緑化教室 18回 480人			緑化教室 16回 592人	A 計画以上	B 予定通り	
39	平成14年10月にトンボから、生態系や環境までを考える、「赤トンボフォーラム」が一宮市で開催されました。それを契機に始まった全小学校プールのヤゴ救出作戦を継続した事業にしま	施設管理課	平成15年11月16日「赤とんぼフォーラム in 一宮」を開催した。 平成16年10月31日「赤とんぼフォーラム in 一宮」を開催した。 平成17年10月30日「赤とんぼフォーラム in 一宮」を開催した。	赤とんぼフォーラムin一宮を開催	赤とんぼフォーラムin一宮を開催	赤とんぼフォーラムin一宮を開催			10月30日 赤とんぼフォーラムin一宮を開催	B 計画通り	B 予定通り	
39	川に住む魚たちや、川にやってくる鳥たちとふれあえる機会をつくります。	公園緑地課	毎年6月にホタル観賞のタベを実施している。	ホタル観賞のタベを開催	継続実施	継続実施			ホタル観賞のタベを開催 2日間 延べ600人	B 計画通り	B 予定通り	
39	生物とのふれあいの場として、学校で小動物を飼います。	学校教育課	全小学校で実施（鳥、ウサギ、魚の飼育）	全小学校で実施	全小学校で実施	全小学校で実施	全小学校で実施	全小学校で実施	全小学校で実施	B 計画通り	B 予定通り	
41	尾張一宮駅・新一宮駅の周辺には景観・防災を配慮した緑化を推進します。	まちづくり課	該当事業なし									
41	市街地の建物（ビル）屋上の緑化を推進します。	公園緑地課	該当事業なし									
41	市民に緑化への理解を促すため、行事開催時に花の苗か苗木（市の木など）を希望者に贈ります。	公園緑地課	いちのみやリバーサイドフェスティバルで入学記念樹を配布している。	入学記念樹を配布（新1年生の75%を目標とする。）	入学記念樹を配布（新1年生の75%を目標とする。）	入学記念樹を配布（新1年生の70%を目標とする。）			新1年生の62.7%に配布	C 多少下回る	B 予定通り	
41	学校の校庭に芝生を植えるなど、学校内に緑を増やしていきます。	学校教育課	校地の活用については、学校と教育総務課と連携して進めていく。	毎年、ふれあい潤い空間づくりで1校を目途に進める。	毎年、ふれあい潤い空間づくりで1校を目途に進める。	毎年、ふれあい潤い空間づくりで1校を目途に進める。	毎年、ふれあい潤い空間づくりで1校を目途に進める。	毎年、ふれあい潤い空間づくりで1校を目途に進める。	1校で整備	B 計画通り	B 予定通り	
41	市役所をはじめ、あらゆる公共施設の緑化を推進します。	公園緑地課	花いっぱい運動として、幼稚園、保育園、小・中学校、花作り団体、公的機関に花苗や球根を配布している。	事業統合（高年福祉課と事業統合して）	286施設（高年福祉課と事業統合して）	290施設			286団体の施設に配布	B 計画通り	B 予定通り	
41	市役所をはじめ、あらゆる公共施設の緑化を推進します	高年福祉課	花いっぱい運動として、高齢者団体に花苗等を配布している。	事業統合（公園緑地課へ事業統合）								
41	どんぐり郵便局事業	公園緑地課	小中学生を対象にどんぐりを持参してもらい、市で3年間1m程に育てから公園や学校などに植えてもらう。現在育苗中。平成16年度に一般市民に対象を拡大した。	対象を市在住者に拡大100人	継続実施100人	継続実施100人			89名	C 多少下回る	B 予定通り	

行政環境関連施策(第二節)												
頁	取組	担当部課	現況と課題等	H16	H17	H18	H19~H21	H22~H25	H17結果	進捗状況	達成見通し	
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	
41	みどりの少年団育成事業	公園緑地課	学習・野外活動等の緑化活動を通じて人間性豊かな心情を育成する。	学習活動 17回 奉仕活動 4回 野外活動 2回 植樹祭参加 1回	学習活動 17回 奉仕活動 4回 野外活動 3回 植樹祭参加 1回	学習活動 17回 奉仕活動 4回 野外活動 2回 植樹祭参加 1回			学習活動 17回 奉仕活動 4回 野外活動 1回	B 計画通り	B 予定通り	
41	人には緑の回廊、車には緑の壁を視座に進めます。	公園緑地課	該当事業なし									
41	道路の種類と状況（街路、生活道、主要幹線道路）により、草花、樹木を使い分けて、道路わきに植え込み、並木（大、中形木）などを配慮し、また、傍道緑化を進めることで、緑あふれる街区の実現をめざします	公園緑地課	該当事業なし									
42	市中心市街地は、都市の玄関口となる地区であり、また公共施設なども多く立地し、多くの市民が集う場所です。良好な景観づくり、憩いの場、騒音、大気汚染などに対する環境浄化、火災の延焼遮断に資する、市民の誇りとなる緑の環境づくり	公園緑地課	一宮駅周辺約560haを緑化重点地区として定め、駅前広場、シンボルロード、神山緑道、梅ヶ枝公園、鉄道高架記念緑道等の緑化を図った。	神山緑道 77m	鉄道高架記念緑道 360m				鉄道高架記念緑道 360m	B 計画通り	B 予定通り	
42	グリーンバンク（緑の仲人）制度の実施。不要となつた木々を登録し、希望者に仲介し身近な緑化を促	公園緑地課	該当事業なし									
42	工事などの不要土を活用した起伏のある地形を造成し、緑の中に昆虫や鳥が住めるような、ふるさとの木による市民の森づくりを推	公園緑地課	市民参加の森づくり植樹祭（市と寄付による事業） 平成14年度：小学生と地元町内会 800名 平成15年度：小学生と地元町内会 480名 平成16年度：一宮市光明寺最終処分場竣工記念植樹祭 800名	一宮市光明寺最終処分場 竣工記念植樹祭 800名	植樹祭 800名	継続実施			合併記念植樹祭 鉄道高架記念緑道 800名	B 計画通り	B 予定通り	
42	長期計画で市の主要施設、駅、社寺、池、河川を結ぶ“緑の回廊”を設けることを、今後の夢とし、その実現をめざします。	公園緑地課	該当事業なし									
43	市内の河川に住む魚や水生生物、付近の植物の絵つき説明板を展示します。	治水課	国・県等が実施する親水性護岸工事の際に、説明板の設置を要望する。	継続実施	継続実施	継続実施	国営農地防災事業（大江排水路改修）親水護岸工事 森本・丹羽地内での実施を要望する。		水辺の緑の回廊事業（領内川護岸植栽工事・上祖父江地内）にて実施	B 計画通り	B 予定通り	
43	公園の植物や、そこにやつてくる鳥などの生物の説明の看板を設置します。	公園緑地課	一部の公園で樹名板を設置している。また、大野極楽寺公園には野鳥の説明版が設置してある。	順次実施	継続実施	継続実施			東畠公園	B 計画通り	B 予定通り	
43	一宮市の昆虫のパンフレットを作り配布するなど、一宮の自然環境の現状と保全のPRを行います。	環境保全課	該当事業なし									
43	地域の自然をもっと知ろう。自然の中でまず川を取り上げ、自分たちの周りを流れる川をもっと身近に感じ、関心を持ってもらう取り組みを検討します。	環境保全課	小学生とその親を対象に水生生物調査（木曽川探検隊）を隔年で実施する。	水生生物調査 年1回実施	継続実施	隔年で実施	隔年で実施	隔年で実施	木曽川南派川（北方町地内）において水生生物調査を実施。7月21日9組25名参加	B 計画通り	B 予定通り	
43	地域の自然をもっと知ろう。自然の中でまず川を取り上げ、自分たちの周りを流れる川をもっと身近に感じ、関心を持ってもらう取り組みを検討します。	公園緑地課	該当事業なし									

行政環境関連施策(第二節)												
頁	取組	担当部課	現況と課題等	H16	H17	H18	H19~H21	H22~H25	H17結果	進捗状況	達成見通し	
ア	イ	ウ	工	オ	力	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	
44	都市景観条例による良好な都市景観形成を目的に組織された景観団体に対し、技術的援助や活動、運営の支援を行います。	まちづくり課	該当事業なし									
44	市内中心部にある電線の地中化区域の拡大を図ります。	道路課	平成18年度より計画 他市に比べて整備が立ち遅れている。 電線管理者等の調整が課題である。	計画なし	計画なし	県道名古屋岐阜線 L=430m 市道栄線 L=300m	県道名古屋岐阜線 L=430m	市道奥末広線 L=600m	計画なし	B 計画通り	B 予定通り	
44	愛知県屋外広告物条例の遵守を呼びかけます。	公園緑地課	毎年9月の広報に屋外広告物に関する啓発記事を掲載している。 県条例に基づき屋外広告物の審査を行い、簡易違反広告物の除去を行	許可 600件	継続実施	継続実施			許可325件	B 計画通り	B 予定通り	
45	花壇コンクールを実施します。	公園緑地課	花壇コンクールを実施します。 私たちの庭の会を支援し、公園の花壇を「地域住民の庭」として管理する。	コンクール応募 70点 会管理所数 8ヶ所	コンクール応募 70点 会管理所数 9ヶ所	継続実施			コンクール応募 62点 会管理所数 9ヶ所	B 計画通り	B 予定通り	
45	パトロールで不法投棄（粗大ごみ・放置自転車など）や放置自動車をなくします。	維持課	平成14年度より、警察、県一宮建設事務所及び市関係各課により「不法投棄対策連絡会」を設立し合同パトロールを実施している。 高速道路沿いや田畠の間の道路等、人目がない地域が市内に多いため、不法投棄の根絶にはいたっていない。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	パトロール実施	B 計画通り	B 予定通り	
45	パトロールで不法投棄（粗大ごみ・放置自転車など）や放置自動車をなくします。	清掃対策課	平成14年度より、警察、県一宮建設事務所及び市関係各課により「不法投棄対策連絡会」を設立し合同パトロールを実施している。 夜間パトロールや郵便局との提携による通報制度により、不法投棄の防止に努めている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り	
45	パトロールで不法投棄（粗大ごみ・放置自転車など）や放置自動車をなくします。	地域ふれあい課	一宮駅周辺の自転車放置禁止区域に自転車を放置しようとする人に駐輪場を利用するよう指導し、また放置自転車の撤去を行っている。	継続実施	継続実施	継続実施			継続実施し効果的な放置自転車対策ができた。	B 計画通り	B 予定通り	
45	ごみ、タバコ、空き缶などのポイ捨て禁止、罰金、罰則を強化します。	清掃対策課	平成14年4月より「空き缶等ごみ散乱防止条例」を改正し、旧市地域を重点地域と定め、罰則規定を設ける。 また、看板やのぼり旗による啓発を実施し、10月の一宮市環境月間を中心に啓発を進めている。	紙面啓発 17回 事業啓発 19回	紙面等による啓発活動を隨時実施	継続実施			目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り	
47	一宮に残る自然や歴史・文化遺産など、貴重な環境観光資源をより多くの方に知ってもらうため、ボランティアでガイドを募り、市内外の人たちが、それらを知る機会を作ります。	博物館	文化財解説ボランティア養成講座を開催、平成12・13年度で第一期生、平成14・15年度で第二期生、平成16・17年度で第三期生が修了した。 平成18・19年度で第四期生の養成を行う。	20名募集 6回実施	継続実施 7回開催予定	継続実施 15名募集 6回開催予定			第1回 11名参加 第2回 11名参加 第3回 13名参加 第4回 13名参加 第5回 8名参加 第6回 11名参加 第7回 8名参加	B 計画通り	B 予定通り	
47	集客力のある観光資源に力を入れます。七夕まつりをはじめとした行事がもっと活気づくようにします。	経済振興課	七夕まつりの実施主体である一宮七夕まつり協進会に対し分担金を交付して支援している。	継続実施	継続実施				4,400万円を補助	B 計画通り	B 予定通り	
47	既存の歴史・観光マップに環境を加えて作成します。 一宮市の名所を地図に落とし、歴史・文化遺産や自然などを市内外の人にアピール	博物館	該当事業なし									
48	博物館に収蔵している考古・民俗・歴史・美術工芸などの約4万5千件ある各分野の資料については、博物館収蔵品管理システムを構築し、データベース化を行い、そのうち1,200件を学習室で来館者用システムとして公開した。（平成17年3月31日現在44,240件）	博物館	博物館に収蔵している考古・民俗・歴史・美術工芸等の各分野の資料については、博物館収蔵品管理システムを構築し、データベース化を行い、そのうち1,200件を学習室で来館者用システムとして公開した。（平成17年3月31日現在44,240件）	継続実施	継続実施	継続実施			平成18年3月31日現在 45,719件 (前年より1,479件増加)	B 計画通り	B 予定通り	
48	文化財保護法、愛知県文化財保護条例、一宮市文化財保護条例により指定した文化財、いわゆる指定文化財が302件あり、これらについては保護活動（保存修理・維持管理事業など）に補助金を交付し、活動に対する助成を行います。	博物館	指定文化財所有者、管理者からの申請に基づき、補助金を交付している。	13件	24件 合併に伴い増加	25件			29件	B 計画通り	B 予定通り	

行政環境関連施策(第二節)												
頁	取組	担当部課	現況と課題等	H16	H17	H18	H19～H21	H22～H25	H17結果	進捗状況	達成見通し	
ア イ 48	指定文化財以外の民俗芸能の保護・保存・後継者育成については、「民俗芸能伝承保存事業補助金」を交付し、その活動に対する助成を行います。	ウ 博物館	工 民俗芸能伝承保存団体からの申請に基づき、補助金を交付している。	オ 6件	力 7件 合併に伴い増加	キ 7件	ク	ケ	コ 7件	サ B 計画通り	シ B 予定通り	